

## 震災から見つけた日本

災害にあった国を通じて、その国の本当の姿が見えてくるわよと友達からいわれました。そのため、私は今回のテーマを「震災から見つけた日本」とし、私なりの感じたことや見えてきたことを皆さんにお伝えさせて頂きたいと思います。

私は日本に来て半年で、人生最大の自然災害の東日本大震災を経験しました。これは半年で見えてなかった日本の本当の姿を認識させてくれました。

震災後、中国の両親の心配の極まりで、私は帰国することになって再入国手続きのために入管を尋ねました。その日、入管はビルの中も外も人で込み合って、人の列は入管を何重も囲むようにして並んでいました。私達はこんなに並んで、自分の番が来る前に入管がしまっちゃうのではないかと心配でした。でも、入管の人は「4時まで並んでくれた人の手続きは必ず受付ますよ」と私達を安心させてくれたし、言葉とおりに並んだ全員をその日のうちに対応してくれました。明日は世界が崩壊しようと、仕事は必ず成し遂げる日本人のこのような仕事に取り組む精神に頭が下がりました。

そして、地震あった直後にもう一つ私に感動をくれたのは千葉の家の近くの「第一パン」という工場でした。スーパーとかで食べ物が品切れになっていて、近所の人達はみんなこの工場に押し寄せてきました。このパン工場は普段でも安い値段で販売を行っていましたが、地震当日は詰め放題で販売を行い、その後も普段より何倍も安い値段でパンを提供してくれました。

このように震災状況にサポートを行った企業は恐らくそのパンの工場だけではないと思います。お互い助け合い、配慮しながら、お互い励まし合いながら皆で乗り越えることができたと思います。

日本はどこにいても、長蛇の列を作って待っていて、正直面倒くさいと思ったこともありました。しかし、今回の地震でこのようなルールがあってからこそ、日本は災害が少なくて済んだし、この日本社会のルールが人々にこの社会の一人である以上良かった、大丈夫だという安心感をもってきてくれたと思います。

日本、頑張ろう！

これからどんな困難や災害があっても、ルールを守りながら、一緒に乗り越えましょう！